

島に新しい風を吹かせる

ANOHITO
あの人この人
KONOHITO



北松浦郡
おちか小値賀小学校PTA会長
会 長 新田 大樹

小値賀町は、島全体が西海国立公園に指定され、世界遺産の『長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』に含まれるという、自然・歴史に恵まれた町です。

この素晴らしい環境の中、子どもたちののびのびと日々を送っています。しかし、人口減少、高齢化が問題になっています。そこで町が力を入れたのが、移住者を増やすことでした。私も8年前に福岡から移住し、

町や地域の助けを得て頑張っています。

同じ移住者で島の農業を盛り上げてくださっているのが、小値賀町担い手公社の大賀利章さんおとしあきです。長崎市出身の大賀さんは、移住歴6年。現在は町の特産品である落花生の生産と加工を行っています。大賀さんに、島の子どものたのびのびなことを尋ねてみたところ、「習い事とか遊びとか、いろんなことを頑張っているなあという印象です。いろんなところで遭遇します。半分、友達みたいに感じています」とおっしゃいます。それこそは、大賀さんは農業のみならず、たくさんの活動に積極的に参加し、時には自ら活動を主催されているのです。地元有志の海岸清掃、小学生のサッカークラブでの練習相手、町内の将棋大会、お茶会の亭主としてお点前の披露、町でのイベントでは仮装して参加し盛り上げる等々、活動は多岐にわたっています。

また、大賀さんが行う活動は、『誰でも参加OK』のものばかり。おかげで、子どもからお年寄りまで多くの島民の交流の場になっています。

島の小中学生は、この40年間で約85%も減少しています。しかし、人数が少ないからこそ、地域の方々からの協力によって成り立つ教育ができると思っている私にとって、大賀さんは、新しい学び、交流、体験を与えてくれる頼もしい人です。



大賀さん